

JAバンク鳥取信連 平成25年度上半期の概況

【鳥取県信用農業協同組合連合会 半期ディスクロージャー】

地域貢献情報

当会は、鳥取県を事業区域として、地元のJA等が会員となって、お互いに助け合い、お互いに発展していくことを共通の理念として運営されている相互扶助型の農業専門金融機関であるとともに、地域経済の活性化に資する地域金融機関です。

当会の資金は、その大半が県内のJAにお預けいただいた農家組合員・地域の皆さまの大切な財産である貯金を源泉としております。

当会では資金を必要とする農家組合員の皆さま方や、JA・農業に関連する企業・団体および、県内の地場企業、地方公共団体などにもご利用いただいております。

当会は農家組合員の皆さまの経済的・社会的地位の向上を目指し、JAとの強い絆とネットワークを形成することによりJA信用事業機能強化の支援を行うとともに、地域社会の一員として地域経済の持続的発展に努めております。

地域からの資金調達状況(平成25年9月末)

(単位:百万円)

預り先		貯金残高	
会 員	J A	303,221	(94.7%)
	そ の 他	16,002	(5.0%)
	小 計	319,224	(99.7%)
会 員 以 外		896	(0.3%)
合 計		320,121	(100.0%)

地域への資金供給状況(平成25年9月末)

(単位:百万円)

貸出先		貸出金残高	
会 員	J A	6,292	(27.6%)
	そ の 他	2,452	(10.8%)
	小 計	8,745	(38.3%)
会 員 以 外	地方公共団体等	2,882	(12.6%)
	金 融 機 関	6,210	(27.2%)
	そ の 他	4,976	(21.8%)
	小 計	14,068	(61.7%)
合 計		22,814	(100.0%)

地域密着型金融への取組み

< 中小企業等の経営改善および地域の活性化のための取組みを含む >

JAバンク鳥取(当会と鳥取県下3JA)では、農業と地域社会に貢献するため、平成25～27年度JAバンク鳥取中期戦略に基づき地域密着型金融の推進に取り組んでおります。

主な取組みについては、次のとおりです。

➤ 農業者等の経営支援に関する取組み方針

JAバンク鳥取では、当会とJAが一体となって、農業者への融資相談や新規就農者の支援、ニーズにあった農業資金の提供や地域農業・農村の振興と活性化に努めていきます。

➤ 農業者等の経営支援に関する体制整備

JAバンク鳥取では、地域の農業者との関係を強化・深耕するための体制整備に取り組んでおります。当会の農業金融センターでは、JAと一体となった農業融資対応ならびにJAの取組み等のサポートを行っており、JAでは、担い手金融リーダーを設置するとともに、信用・営農・経済部門が連携して農業者の多様なニーズに応えています。

➤ 農山漁村等地域活性化のための融資を始めとする支援

JAバンク鳥取は、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金等制度資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活を支援しています。

また、JAバンクアグリ・エコサポート基金と連携して、厳しい経営環境に直面する多様な農業の担い手に対し、農業経営の安定化・効率化を支援することを目的として農業関連の融資に対する利子助成をしています。

➤ ライフサイクルに応じた担い手支援

JAバンク鳥取では、新規就農者の経営と生活を支援するため、就農支援資金を取り扱っています。

また、JAバンクアグリ・エコサポート基金と連携して、新規就農研修生の育成を行う農家等に対する費用助成をしています。

➤ 経営の将来性を見極める融資手法を始め担い手に適した資金供給手法の取り組み

JAバンク鳥取では、農業者の債務償還負担を軽減し、経営再建を支援するため、負債整理資金を取り扱っています。

文化的・社会的貢献に関する事項

➤ 『JAバンク鳥取 年金友の会』グラウンドゴルフ県大会の開催

JAバンク年金友の会会員の健康増進、親睦を深めるため、第13回グラウンドゴルフ県大会を平成25年7月に開催しました。大会当日は、各JAの予選を勝ち抜いた38チーム・総勢228名の参加者が日頃の練習で磨かれた実力を発揮され、熱戦が繰り広げられました。

➤ 『JAバンク鳥取 ちょきんぎょ杯 第39回鳥取県ママさんバレーボール選手権大会』を協賛

「バレーボールを通じて県民の心身の健全な発達に寄与する」という鳥取県バレーボール協会の趣旨に賛同し、平成25年8月に『JAバンク鳥取ちょきんぎょ杯 第39回鳥取県ママさんバレーボール選手権大会』を協賛いたしました。

➤ 『わかば』作文・図画コンクール(主催:JA鳥取県中央会)を共催

次代を担う子供たちが農業に親しみ、農業・食料の大切さを理解し、ごはんを中心とした「日本型食生活」の良さを見直すことを目的として実施される『わかば』作文・図画コンクール(主催:JA鳥取県中央会)を共催しています。

主要勘定の状況

(単位:百万円)

勘定科目	平成25年9月末	平成25年3月末	平成24年9月末
貯金	320,121	306,526	308,758
貸出金	22,814	25,669	23,365
預け金	212,013	195,374	201,485
有価証券	97,128	100,061	95,242

損益の状況

(単位:百万円)

項目	平成25年9月末	平成25年3月末	平成24年9月末
経常収益	1,983	3,553	1,811
経常費用	1,259	2,311	1,226
経常利益	724	1,242	585
当期剰余金	543	958	430

単体自己資本比率

平成25年9月末	平成25年3月末
28.79%	28.69%

(注) 金融庁・農林水産省告示第2号農業協同組合等がその経営の健全性を判断するための基準に基づき算出しております。

金融再生法開示債権(単体)

(単位:百万円)

債権区分	平成25年9月末	平成25年3月末	増減
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	18	18	0
危険債権	28	34	5
要管理債権	13	13	0
小計	60	65	5
正常債権	23,245	26,124	2,878
合計	23,305	26,190	2,884

(注) 上記の債権区分は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律」(平成10年法律第132号)第6条に基づき、債務者の財政状態及び経営成績等を基礎として、次のとおり区分したものです。

破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権をいいます。

危険債権

債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権をいいます。

要管理債権

3か月以上延滞債権で上記及びに該当しないもの及び貸出条件緩和債権をいいます。

正常債権

債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がないものとして、上記からまでに掲げる債権以外のものに区分される債権をいいます。

有価証券時価情報

(単位:百万円)

区分	平成25年9月末			平成25年3月末		
	取得価額	時価	評価損益	取得価額	時価	評価損益
売 買 目 的	-	-	-	-	-	-
満期保有目的	1,915	1,956	41	2,017	2,071	54
そ の 他	91,674	95,213	3,538	93,704	98,044	4,341
合 計	93,590	97,169	3,579	95,721	100,115	4,395

(注) 9月末の有価証券の時価は9月末日における市場価格等に基づく時価により計上しています。

売買目的有価証券については取得価額を、満期保有目的有価証券またはその他有価証券については償却原価適用後、減損適用後の帳簿価額を記載しております。